

伊東昭義 in パリ ユネスコ展 開催概要

2015 年 6 月 1 日～12 日

“Salle des Pas Perdus ” IOC UNESCO

■「奇跡の海」展～Miracles Under the Waves～について

2015 年 6 月 8 日の“World Oceans Day”の開催にあわせ、フランス・パリのユネスコ・IOC(※1)の要請により本部内会場 Salle des Pas Perdus において『「奇跡の海」展～Miracles Under the Waves～』が 6 月 1 日から 12 日まで行われた。

このユネスコ展は、『国立スミソニアン展』(米国、ワシントン D.C、2005 年)から『国立ポルトドレ水族館・美術館展』(フランス・パリ、2012 年)、そして『国立アリナリ写真美術館展』(イタリア・フィレンツェ、2012 年)での海外展覧会のまさに集大成ともいえる展覧会となった。

※1 UNESCO の IOC とは、Intergovernmental Oceanographic Commission の略で政府間海洋委員会。

毎年 6 月 8 日には“World Oceans Day”が開催され、海の科学的、経済的、社会的意識を高めるために技術的なワークショップ、国際総会、オープンキャンパスや展示会など様々な催しがある。

■政府主導で教育巡回展

今回のユネスコ展覧会では、現地パリの日本政府代表部全権大使からも直々に、日本の代表として唯一の参加、そして皆様に感動を与える作品を発表したことへの謝辞を受ける。あわせて、ユネスコでの短い開催期間にとどまらず、地球の未来を担っていく子どもたち、若者たちのためにパリの学校を中心に政府主導で作品巡回展が決定。

私たちの住む地球は、文明の発達、科学の進歩、IT の普及といった変化の加速度に反比例するかのように自然が、環境が、生態系が破壊・悪化の一途をたどっている現実直面している。

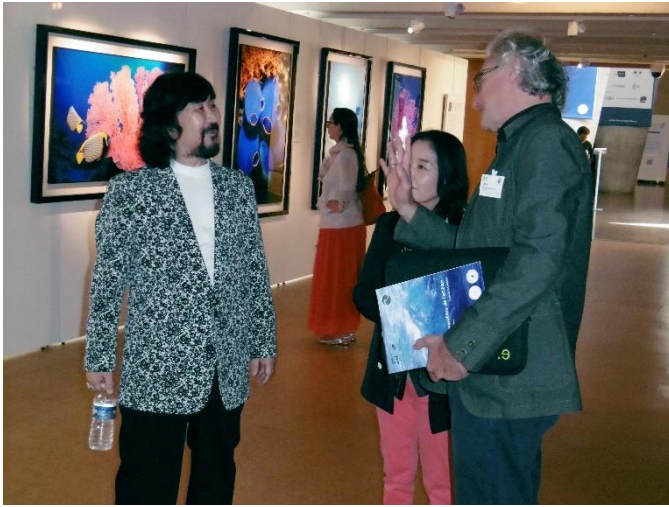
生命の起源である海中世界を『より美しく・より深く・より感動的！』に世界に発信していくためには芸術の力は不可欠であるとの考えのもと、ユネスコ展は各国の子どもたちが作品にじかに触れる貴重な場となった。このことが彼らの感性に響き、自然環境の保護に対する意識を高めていくことで人格形成の一部に資することになれば、それは教育活動の一環と言える。



ワールド オーシャンズ デーの開会式



ユネスコ職員子女が通う保育園の子どもたち 食い入るように作品を見つめる



来館者の熱心な質問に答える伊東昭義



ユネスコ展覧会 会場風景 1



ユネスコ展覧会 会場風景 2



ユネスコ 玄関表記と ユネスコの全貌（館内設置模型より）